

「主な取組」検証票

施策展開	2-(4)-ウ 安全・安心に暮らせる地域づくり	施策	①安全・安心な生活の確保と警察活動の強化
		施策の小項目名	○犯罪の起きにくい社会の実現
主な取組	警察基盤整備事業（警察官の資質向上）	対応する成果指標	特殊詐欺認知件数
施策の方向	・犯罪の起きにくい社会の実現に向けては、警察安全相談体制の構築、交番機能の充実・強化、人材育成、施設整備、各種装備資機材整備など警察基盤の強化に取り組みます。		

1 取組の概要 (Plan)

主な取組(アクティビティ)	実施主体	年度別計画		
		活動指標(アウトプット)		
		R4	R5	R6
犯罪の起きにくい沖縄県の実現に向けて警察基盤を確立するため、各種専科教養等により警察官の資質の向上を図る。	県	警察官の資質の向上		
		警察学校における教育訓練の受講人数(累計)		
		335人	335人(670人)	335人(1,005人)
担当部課【連絡先】	県警本部警務部教養課	【 098-862-0110 】	関連URL	—

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況				(単位：千円)		
予算事業名	運営活動費			予算事業名	運営活動費	
主な財源	実施方法	R4年度 決算額	R5年度 決算見込額	R6年度		
		県単等	直接実施	26,479	29,427	主な財源
県単等	直接実施					28,760
令和5年度活動内容				令和6年度活動計画		
各種教養訓練を495人が受講した。新型コロナ情勢の回復に対応しながら現地派遣を増やし対面教養を推進した。				警察官の資質の向上のため、教養訓練を継続し現地派遣を行う。		

活動指標名	警察学校における教育訓練の受講人数(累計)	R5年度			進捗状況	活動概要
実績値	R3年度	R4年度	実績値(A)	目標値(B)		
		378人	445人	495人	335人(670人)	100.0%
活動概要 新型コロナウイルス等感染症の対策を徹底するなどして、各種専科を495人が受講した。						

進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果

○各種感染症対策を講じながら、各種専科教養への現地派遣による対面教養を推進した結果、受講者数は目標値を上回る495人となり、取組は順調に推移している。  
○専門的な知識、技能の修得により、警察官の資質向上及び人的基盤の強化が図られた。

(2) これまでの改善案の反映状況

令和5年度の取組改善案	反映状況
○教養効果の高い対面教養を計画的に推進しつつ、合理性にも配慮したリモート方式の導入の検討も並行して推進し、職員が積極的に教養に参加できる環境作りに取り組む。 ○長期研修の受講により研修受講者の通常業務に過度な負担がかかることがないよう、研修への派遣時期、対象者の選定に配慮する。	リモート方式による教養を導入し、集合教養の参加が困難な職員にも教養の機会が与えられるようにした結果、離島勤務の職員が出張することなく教養に参加できるなどの合理化も図られた。

3 取組の検証 (Check)

類型	内容
④ 社会・経済情勢の変化(外部環境の変化)	機器環境の整備により、教養のリモート化や資料のアーカイブ化による集合教養の見直しを求めるなどの職員の意識に変化が生じている。
⑦ その他(改善余地の検証等)	日々、広域・多様化する犯罪形態に対応するためには一定の教養訓練期間の確保が必要であるが、通常業務との均衡もあり長期研修を希望する職員が少ない。

4 取組の改善案 (Action)

類型	内容
⑥ 変化に対応した取組の改善	教養効果の高い対面教養を計画的に推進しつつ、合理性にも配慮したリモート方式の導入の検討も並行して推進し、職員が積極的に教養に参加できる環境作りに取り組む。
⑦ 取組の時期・対象の改善	長期研修の受講により研修受講者の通常業務に過度な負担がかかることがないよう、研修への派遣時期、対象者の選定に配慮する。